



当初設計

2026年度

河口大橋・8-1

福山市 箕島町及び水呑町 地内

橋梁修繕工事 実施設計書

工 事 概 要	当初設計		第 1 回変更
	工事延長	L=453. 9m	
	橋長	L=454. 1m	
	有効幅員	W=12. 5m	
	高欄取替工	L=454m	
	仮設工	一式	

特記仕様書

第1章 総則

第1節 適用

- 1) 本特記仕様書は、道路整備課 橋梁修繕工事（河口大橋・8－1）に適用する。
- 2) 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
- 3) 令和8年8月 広島県 土木工事共通仕様書、「設計図書（別冊図面、仕様書）」、「福山市建設工事執行規則」、「福山市工事検査技術基準」、その他関連規格類

第2節 工程表の提出について

- 1) 契約締結後 14 日以内に設計図書に基づいて、工程表を作成し、発注者に提出すること。工期の変更契約についても同様とする。

第3節 地元への周知・地権者への承諾

- 1) 受注者は、地先住民、町内会長、土木常設員に工事着手及び工事完了の報告を行うこと。また、工事着手に先立ち地先住民及び貸借人には具体的な施工内容、方法、時期等の説明を行い、承諾を得ること。
- 2) 受注者は、工事着手の際に、あらかじめ沿線地権者に施工内容等についての説明を行い、承諾を得ること。
- 3) 地権者に官地内の境界杭等の有無を確認すること。境界杭等がある場合は工事完了後、復旧することとし、地権者が境界杭等はないと回答をした場合であっても、境界杭等の有無を確認しながら、施工しなければならない。受注者は地権者と現地で立会を行い、境界杭等の有無、位置等の確認を行うこととし、事前、事後に写真記録を行い、適切に管理すること。
- 4) 受注者は上記の結果を福山市指定の様式により、監督員に提出後、工事着手すること。

第4節 施工承認図の作成

- 1) 受注者は、受注後、設計図書に基づき現地を照査し、施工承認図を作成し監督員に提出すること。

第5節 現場代理人の常駐義務

- 1) 本工事において、現場代理人は常駐しなければならない。
なお、やむを得ない事情により上記の指定により難しい場合は、監督員と受注者が協議するものとする。

第6節 工事に着手すべき期日について

- 1) 受注者は、工事開始日以降 30 日以内に工事着手しなければならない。

第7節 情報共有システム

- 1) 本工事は、受注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報共有システムの対象である。
- 2) 本工事で使用する情報共有システムは次とする。
 - ・ 広島県工事中情報共有システム
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/asp/index.html>
- 3) 受注者は、情報共有システムの利用対象としないことを希望する場合は、契約後すみやかに発注者にその旨を協議し、承諾を得ること。
- 4) 受注者は、情報共有システムの利用にあたり、（一社）広島県土木協会に利用申込みを行い、利用料を支払うものとする。
- 5) 受注者は、情報共有システムの利用にあたり、情報共有システム利用手引に基づき運用すること。

第2章 施工条件

第1節 工程

1) 検査期間

- ・ 本工事の工期は、工事検査期間として、14日間を見込んでいます。

- ・工事名 令和8年度芦田川水系水門設備外点検整備
- ・発注機関 国土交通省中国地方整備局福山河川国道事務所
- ・他工事の内容 河口堰の点検整備

3) 施工時期・時間の制限

- ・渇水期での施工とする。

4) 関係機関との協議

- ・協議先機関名 国土交通省中国地方整備局福山河川国道事務所 芦田川河口堰管理支所
- ・協議内容 上記工事との調整、施工内容全般
- ・協議先機関名 広島県警察
- ・協議内容 工事に伴う交通規制（通行止め・車線規制）の実施について

第2節 公害対策

1) 排出ガス対策型建設機械の使用促進

1. 令和8年8月広島県土木工事共通仕様書で使用を義務づけている排出ガス対策型建設機械においては、第三次基準以上の建設機械の使用に努めること。なお、使用する排出ガス対策型建設機械について、基準値による設計変更は行わない。

第3節 安全対策

1) 交通誘導警備員

1. 片側交互通行及び通行止め等の交通制限を行う場合は、関係官公署の許可条件を遵守し、関係機関との協議を十分に行うこと。また、地域の地元関係者等周辺を利用する市民への周知徹底を図り、安全かつ円滑な交通を確保して事故発生の無いように努めること。
2. 作業現場、作業用地内の整理整頓に留意して必要な安全施設の設置等を行い、関係者以外の立入りを禁止して危険防止に努めること。
3. 本工事における交通誘導員は、交通誘導警備員 B を見込んでいる。尚、交通誘導警備員の実施伝票は原本を提出すること。
4. 本工事において交通誘導警備員の積上げ人数は、交通誘導警備員の対象となる施工量に対し作業日当たり標準作業量から必要の人数を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き、施工実績等による交通誘導員の積上げ人数の増員に対する変更は行わない。
5. 受注者は、工事着手に先立ち、交通誘導警備員の配置計画（配置日数及び配置場所）を作成し、監督員と協議すること。

2) 熱中症対策

1. 本工事は、工事現場の熱中症対策に資する経費に関して、補正が必要となる場合には、監督員へ通知を行わなければならない。経費の補正については以下の条件によるものとする。
 - ・工期（工事の始期日から工事の終期日までの期間で、準備期間、施工に必要な実日数、不稼働日及び後片付け期間の合計をいう。なお、検査期間 13 日間、年末年始 6 日間（12 月 29 日～1 月 3 日）、夏季休暇 3 日間（国民の祝日である山の日次の日から土曜日、日曜日及び振替休日を除く 3 日間とする。）、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。）期間中の真夏日の状況に応じて、変更契約時に現場管理費の補正を行うものとする。
 - ・真夏日とは、日最高気温が 30 度以上の日をいう。また、日最高暑さ指数（WBGT）が 25 度以上の日をいう。ただし、夜間工事の場合は、作業時間帯の最高気温又は最高暑さ指数（WBGT）を対象とする。
 - ・気温の計測箇所及び結果は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温又は環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）を用いることを標準とする。なお、本工事において、上記地上観測所及び観測地点は、「福山」とすることを標準とする。
 - ・受注者は、工事期間中における気温の計測箇所、用いる計測値及び計測期間（計測開始日、計測終了予定日）を明記した施工計画書を工事着手前に提出し、計測結果を工事完成時まで監督員に提出すること。

- ・受注者は、計測終了日について、工事完成時までには監督員と協議するものとする。
- ・積算方法は次のとおりとする。

(1) 補正方法

ア 受注者より提出された計測結果の資料を基に、補正値を算出し現場管理費率に加算する。ただし、現場管理費率の補正は、「積算寒冷地域で施工時期が冬期となる場合の補正」、「緊急工事の場合」及び本通知の補正値を合計し、2%を上限とする。

イ 真夏日率＝工期期間中の真夏日÷工期

ウ 補正値(%)＝真夏日率×1.2

(2) 補正値の計算結果は、パーセント表示で少数点3位を四捨五入して2位止めとする。

- ・検査員から修補の指示があった場合、修補期間は対象外とする。

第4節 建設副産物

1) 特定建設資材廃棄物（アスファルト塊、コンクリート塊等）

1. 建設リサイクル法対象工事（請負代金額500万円以上）の場合、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」を遵守し適正に処理すること。また、法第12条第2項に基づき、法第10条第1号から第5号までに掲げる事項について下請負人に告知する場合は、告知書の写しを監督員に提出すること。
2. 特定建設資材廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という）を遵守し、適正に処理しなければならない。
3. 特定建設資材廃棄物は、広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設へ搬出し再資源化しなければならない。
4. 再資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は、広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設のうち受入条件が合うものの中から、運搬費と受入費合計が最も経済的になるものを見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き再資源化に要する費用（単価）は変更しない。なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、施設への受入が困難な場合は監督員と受注者が協議するものとする。
5. 搬出先においては、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、数量等が確認できるように計量伝票等を監督員に提出すること。

第3章 施工時の留意事項

第1節 留意事項

- 1) 工事に先立ち、現地再測を行い、施工箇所及び施工範囲の確認を行うこと。その上で変更が必要となる場合は、発注者と協議を行い決定すること。
- 2) 上流側地覆部の施工にあたっては、照明用電線管があるため、コンクリートはつり時等には十分注意すること。

第4章 その他

第1節 その他項目

- 1) 本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。
- 2) 本工事は、法定外の労災保険契約の保険料を見込んでいる。

総括情報表

頁0 -0001

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 70 福山市 00-08.09.01(0)	《凡例》 Co …コンクリート As …アスファルト DT …ダンプトラック BH …バックホウ CC …クローラクレーン TC …トラッククレーン RTC…ラフテレーンクレーン	
諸経費体系	1 公共(一般)		
	当世代	前世代	
工種 施工地域・工事場所区分 復興補正区分 週休補正区分 現場事務所等の貸与区分 I C T補正区分 冬期補正係数 緊急工事区分 前払金支出割合区分 契約保証区分	41 橋梁保全工事 04 一般交通影響有り(2) 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0 % 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)		
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

本工事費 内訳表

頁0 -0002

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
鋼橋上部					Y1E03 レベル1
橋梁付属物工	1	式			Y1E0306 レベル2
橋梁用高欄撤去工	1	式			Y1E030606 レベル3
橋梁用高欄撤去 【材質,作業区分,高欄形式】	1	式			Y1E03060601 レベル4
既設高欄撤去工 H=800		m			V1000 00
現場発生品運搬 【発生材種類】	453	m			単第0 -0001 表
現場発生品及び支給品運搬 クレーン装置付 通称2t積2.9t吊 片道運搬距離4.0km以下(2.0km超)		t			Y1A01141603 レベル4
	9.47	t			SPK26040410 00
処分費		t			単第0 -0002 表
					Y1A01080408 レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0003

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
【機器単体費】 共通仮設費[対象外], 現場管理費[対象外] 一般管理費[対象外]					#0046
鉄屑(ヘビーH2) 厚さ3mm以上6mm未満,幅高500mm以下 長さ1,200mm以下,質量1,000kg以下	9.47	t			TH002688 00
橋梁用防護柵工					Y1E030605 レベル3
	1	式			
橋梁用防護柵 (車道部)		m			Y1E03060501レベル4
高欄兼用車両用防護柵設置工 NB-32EB-75K相当品					V2000 00
	454	m			単第0 -0003 表
樹脂カプセルアンカー設置工 M20					V2100 00
	1,040	本			単第0 -0004 表
伸縮ジョイント加工費 スリーブ仕様					F0005 00
	9	箇所			
地覆補修 【形状寸法】		箇所			Y1A04110301レベル4
地覆補修工					V3000 00
	190	箇所			単第0 -0005 表

本工事費 内訳表

頁0 -0004

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
仮設工					Y1E0309 レベル2
	1	式			
仮設工					Y1E030901 レベル3
	1	式			
補修用足場工 【施工幅員】					Y1E03090101レベル4
		m2			
任意仮設					V9000 00
	1	式			単第0 -0007 表
交通管理工					Y1E030921 レベル3
	1	式			
交通誘導警備員					Y1E03092101レベル4
		人			
交通誘導警備員B					R0369 00
	164	人			
※※直接工事費※※ #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
共通仮設費率分					Z0019

本工事費 内訳表

頁0 -0005

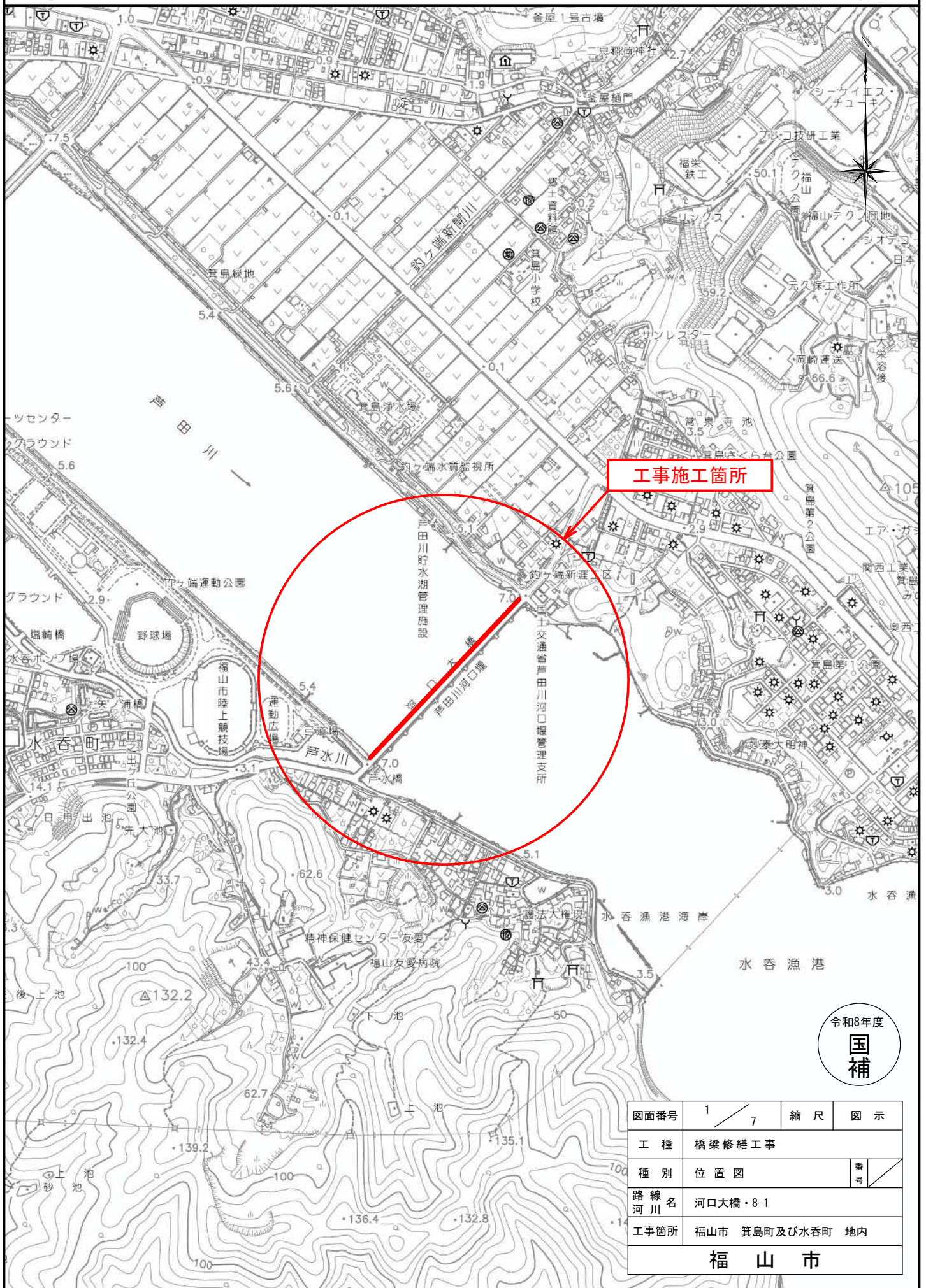
費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
計算情報…… 対象額……… 率……………					
※※共通仮設費計※※					
※※純工事費※※					
現場管理費 計算情報…… 対象額……… 率……………					
※※工事原価※※					
一般管理費率分 計算情報…… 対象額……… 率……………					前払補正率…
契約保証費 計算情報…… 対象額……… 率……………					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
※※工事価格※※					

本工事費 内訳表

頁0 -0006

[illegible]

位置図 S=1/10,000



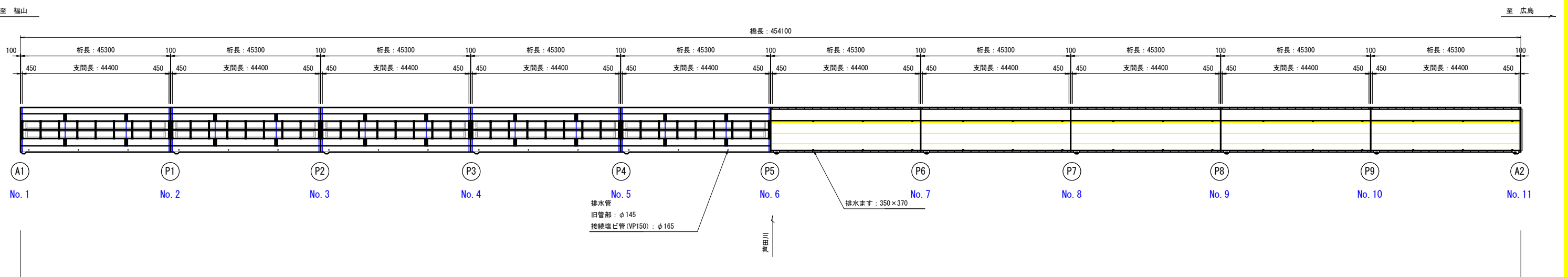
令和8年度
国補

図面番号	1 / 7	縮 尺	図 示	
工 種	橋 梁 修 繕 工 事			
種 別	位 置 図		番 号	
路 線 名	河 口 大 橋 ・ 8 - 1			
工事箇所	福山市 箕島町及び水呑町 地内			
福 山 市				

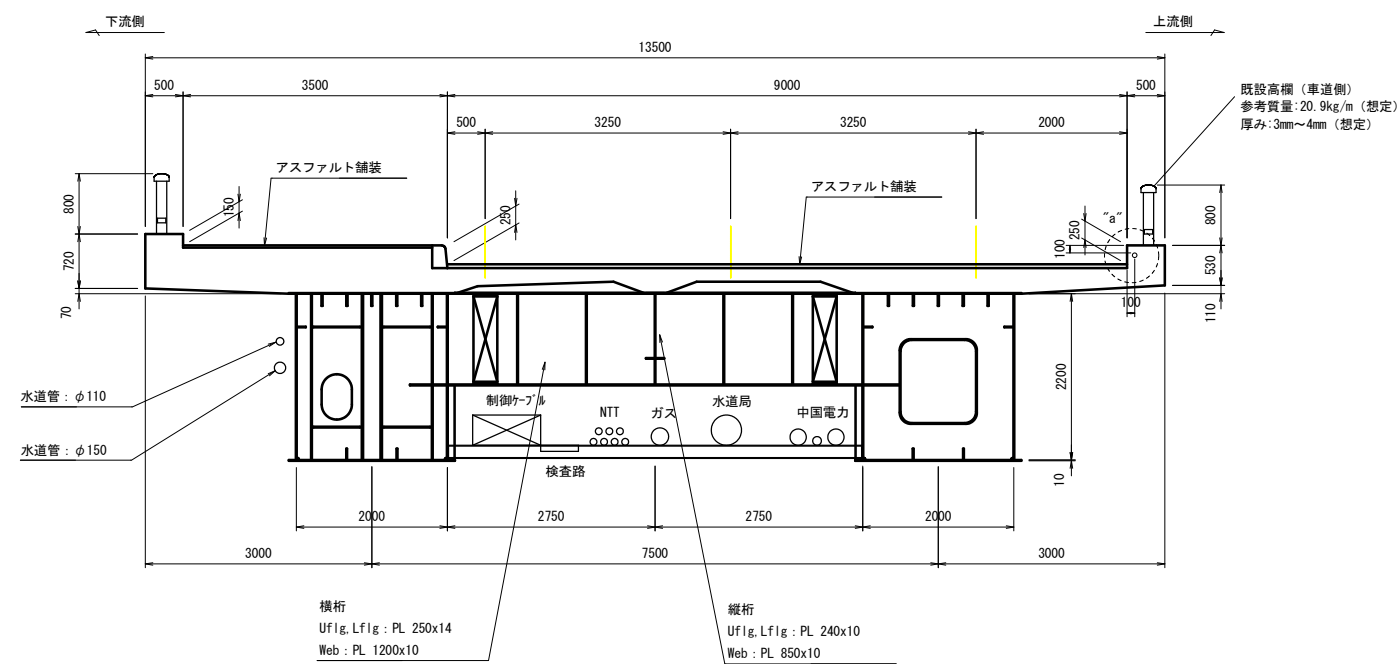
(現況) 側面図 S=1:600

Technical drawing of the bridge structure for the 11th span. The drawing shows a cross-section of the bridge with a total length of 45,410m. The bridge is supported by 11 piers, labeled A1 through A2. The spans between the piers are 44,400m long. The bridge is supported by 11 piers, labeled A1 through A2. The spans between the piers are 44,400m long. The bridge is supported by 11 piers, labeled A1 through A2. The spans between the piers are 44,400m long.

平面图 S=1:600



断面图 S=1:50



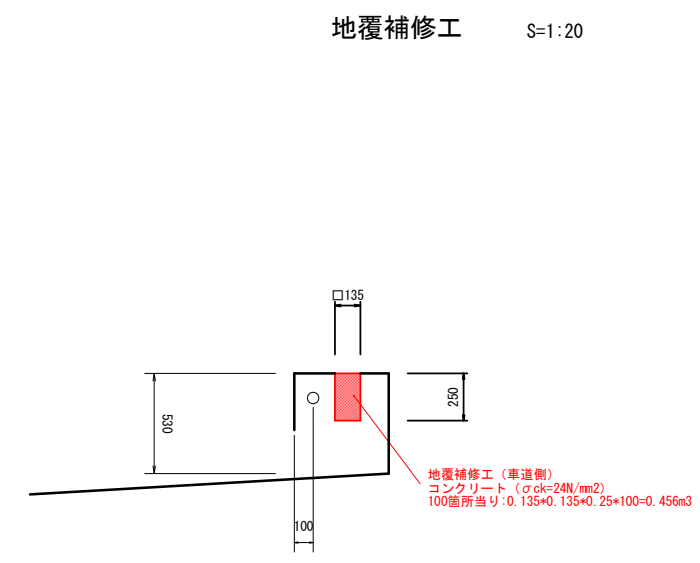
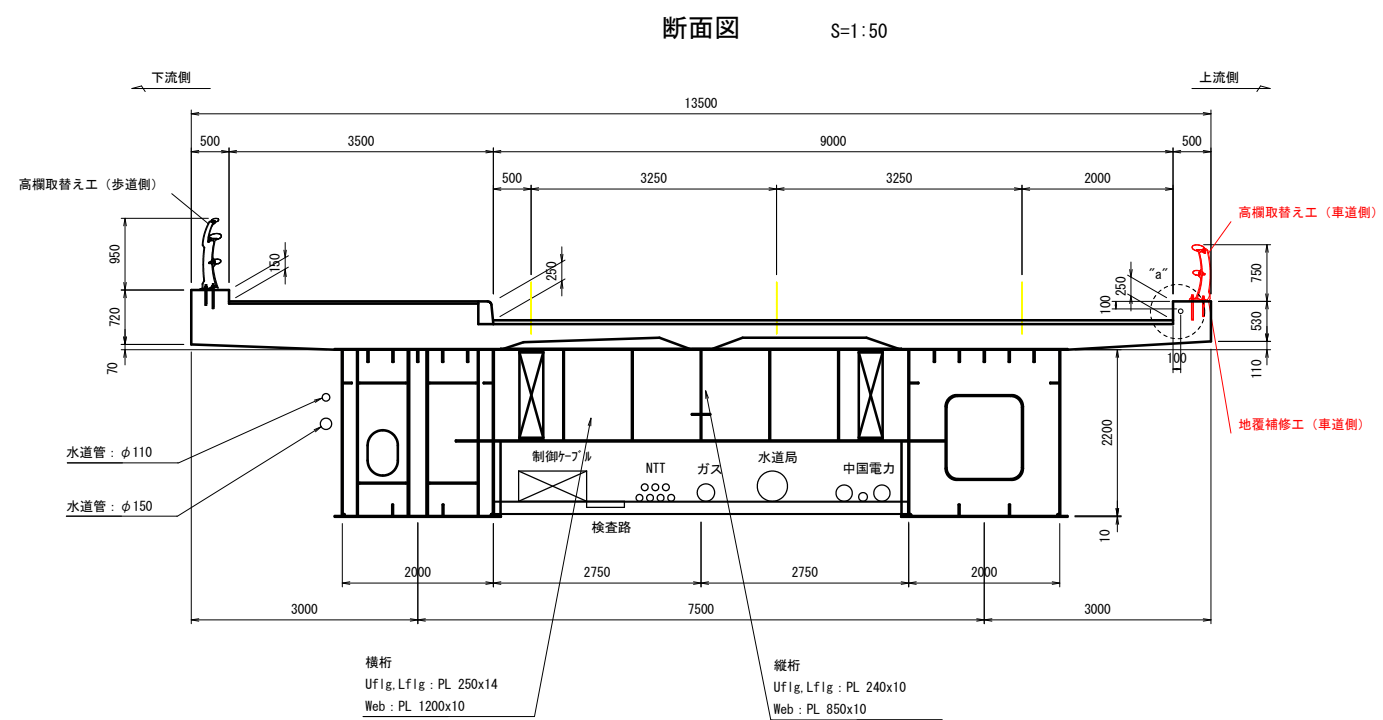
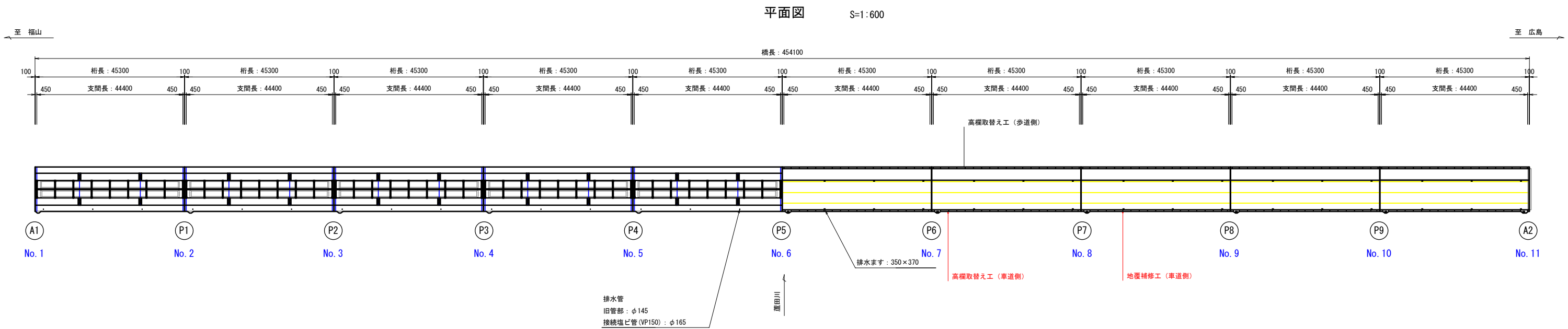
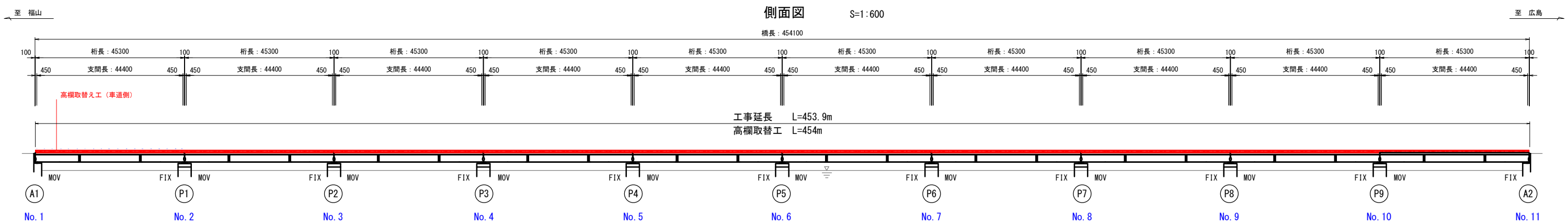
和8年度
国補

026年9月設計

※この図面は縮小しています：A1→A3

図面番号	2 / 7	縮 尺	図 示
工 種	橋梁修繕工事		
種 別	橋梁復元一般図	番 号	1 / 1
橋 梁 名	河口大橋・8-1		
工事箇所	福山市箕島町及び水呑町地内		
福 山 市			

河口大橋 橋梁補修一般図



令和8年度
国補

2026年9月設計

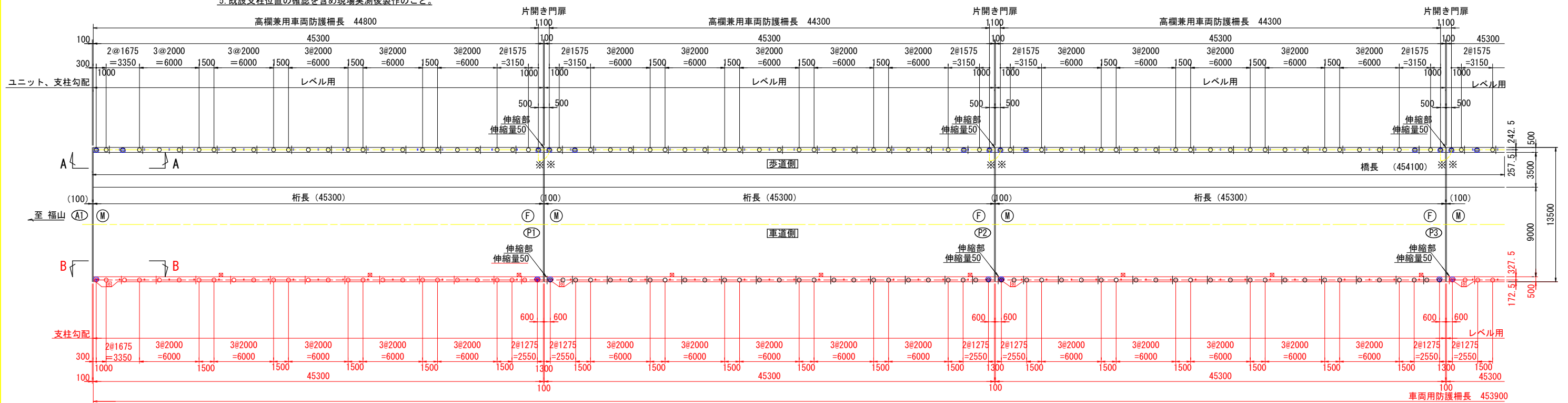
※この図面は縮小しています: A1→A3

図面番号	3 / 7	縮尺	図示
工種	橋梁修繕工事		
種別	橋梁補修一般図	番号	1 / 1
橋梁名	河口大橋・8-1		
工事箇所	福山市箕島町及び水呑町地内		
福山市			

河口大橋 高欄取替え工(その1) S=1:200

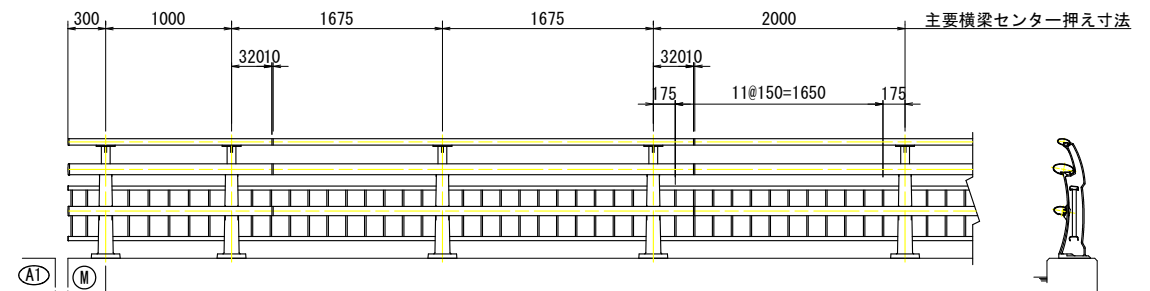
- 注記 1. 記入寸法はアンカーセンター押えの実長を示す。
2. () 内寸法は水平長を示す。
3. 図中○印は支柱取付位置を示し、+印は構梁継ぎ部を示す。
4. ※印部の既設支柱は根本から撤去し地覆は元に戻すこと。
5. 既設支柱位置の確認を含め現場実測後製作のこと。

平面図



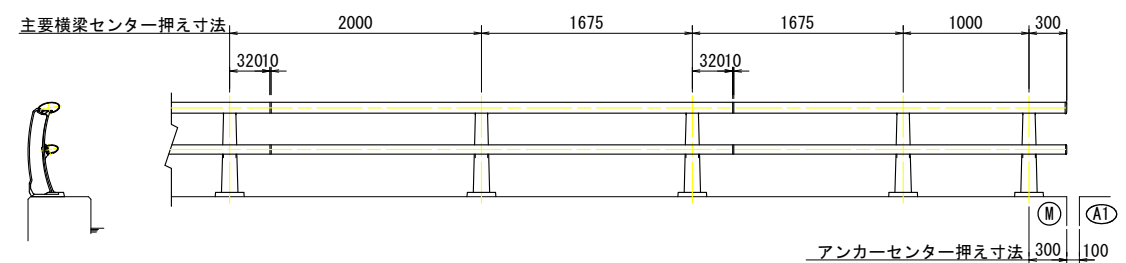
姿図 S=1:30

矢視A-A

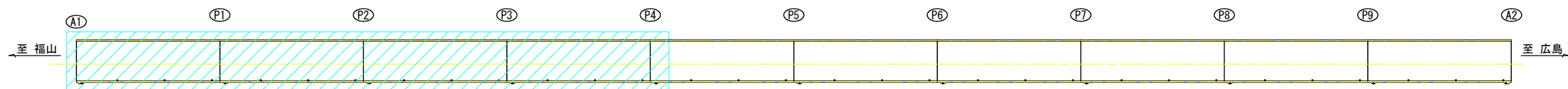


姿図 S=1:30

矢視B-B



全体図 S=1:800



令和8年度
国補

2026年9月設計

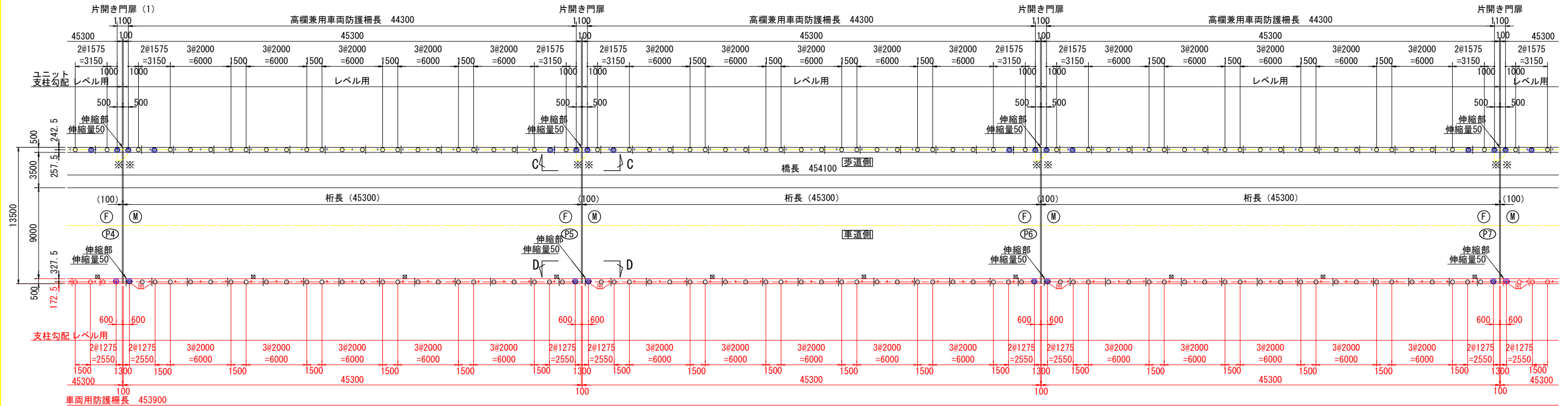
※この図面は縮小しています：A1→A3

図面番号	4 / 7	縮 尺	図 示
工 種	橋梁修繕工事		
種 別	高欄取替え工(その1)	番 号	1 / 1
橋 梁 名	河口大橋・8-1		
工事箇所	福山市箕島町及び水呑町地内		
福 山 市			

河口大橋 高欄取替え工(その2) S=1:200

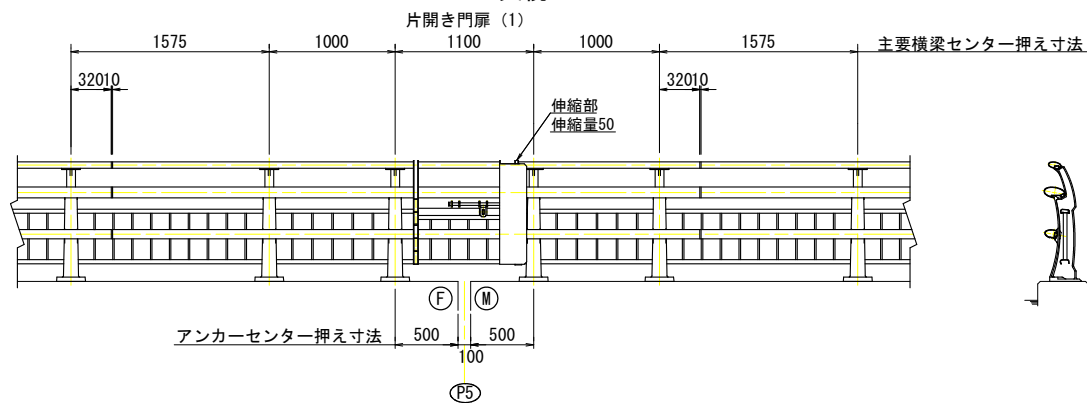
平面図

- 注記 1. 記入寸法はアンカーセンター押えの実長を示す。
2. () 内寸法は水平長を示す。
3. 図中○印は支柱取付位置を示し、+印は横梁継ぎ部を示す。
4. ※印部の既設支柱は根本から撤去し地覆は元に修復のこと。
5. 既設支柱位置の確認を含め現場実測後製作のこと。



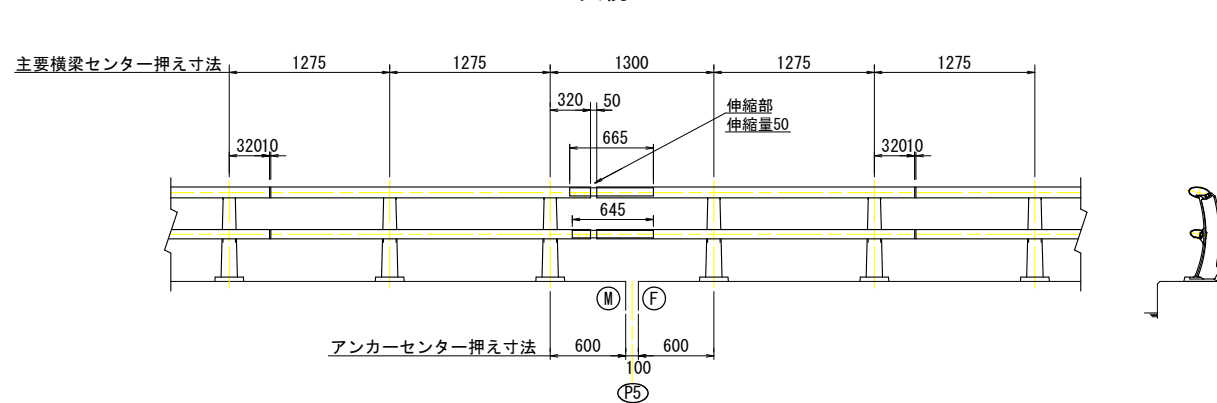
姿図 S=1:30

矢視C-C

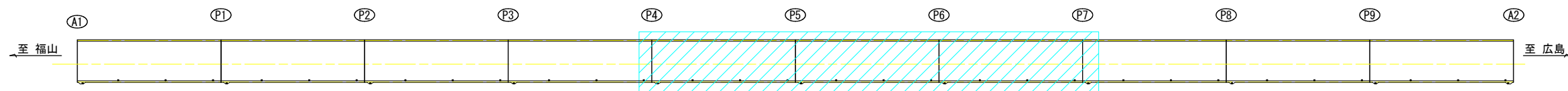


姿図 S=1:30

矢視D-D



全体図 S=1:800



令和8年度
国
補

2026年9月設計

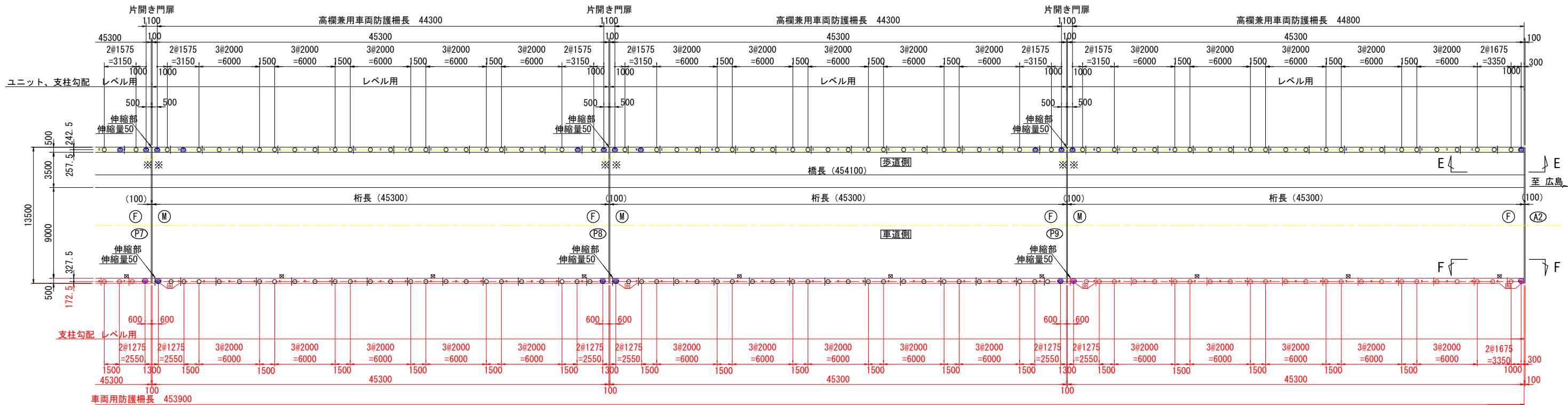
※この図面は縮小しています：A1→A3

図面番号	5 / 7	縮 尺	図 示	
工 種	橋梁修繕工事			
種 別	高欄取替え工(その2)		番 号	1 / 1
橋 梁 名	河口大橋・8-1			
工事箇所	福山市箕島町及び水呑町地内			
福 山 市				

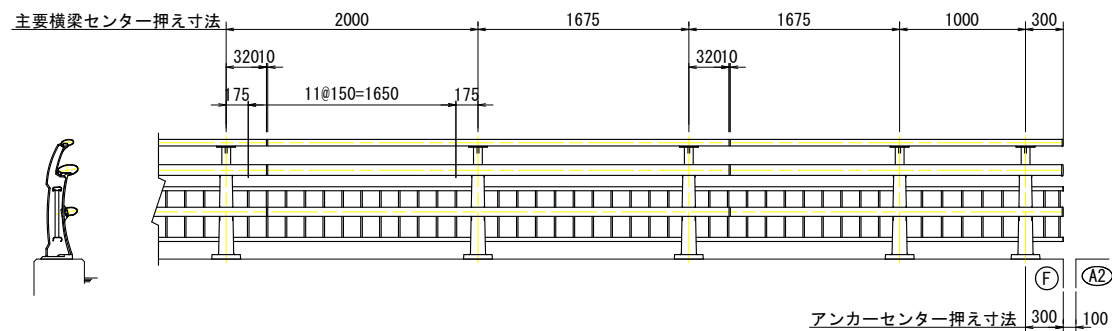
河口大橋 高欄取替え工(その3) S=1:200

平面図

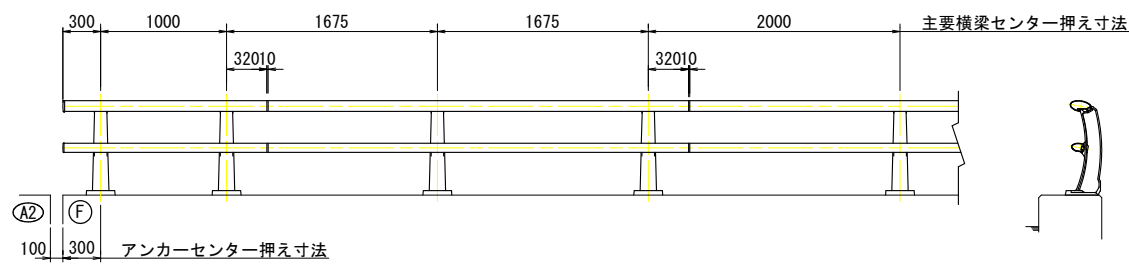
- 注記 1. 記入寸法はアンカーセンター押えの実長を示す。
2. () 内寸法は水平長を示す。
3. 図中○印は支柱取付位置を示し、+印は横梁継ぎ部を示す。
4. ※印部の既設支柱は根本から撤去し地覆は元に修復のこと。
5. 既設支柱位置の確認を含め現場実測後製作のこと。



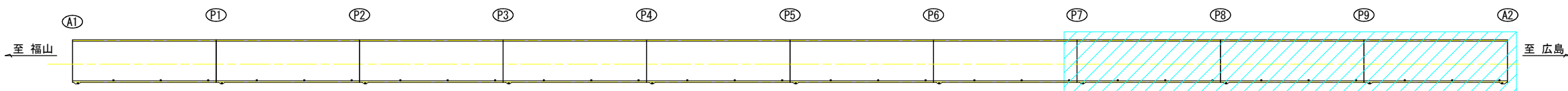
姿図 S=1:30
矢視E-E



姿図 S=1:30
矢視F-F



全体図 S=1:800



令和8年度
国補

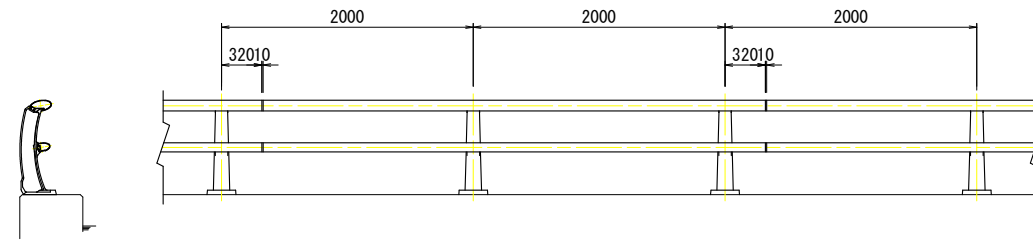
2026年9月設計

※この図面は縮小しています：A1→A3

図面番号	6 / 7	縮 尺	図 示	
工 種	橋梁修繕工事			
種 別	高欄取替え工(その3)		番号	1 / 1
橋 梁 名	河口大橋・8-1			
工事箇所	福山市箕島町及び水呑町地内			
福 山 市				

車両用防護柵取付詳細図

姿 図 S=1:30

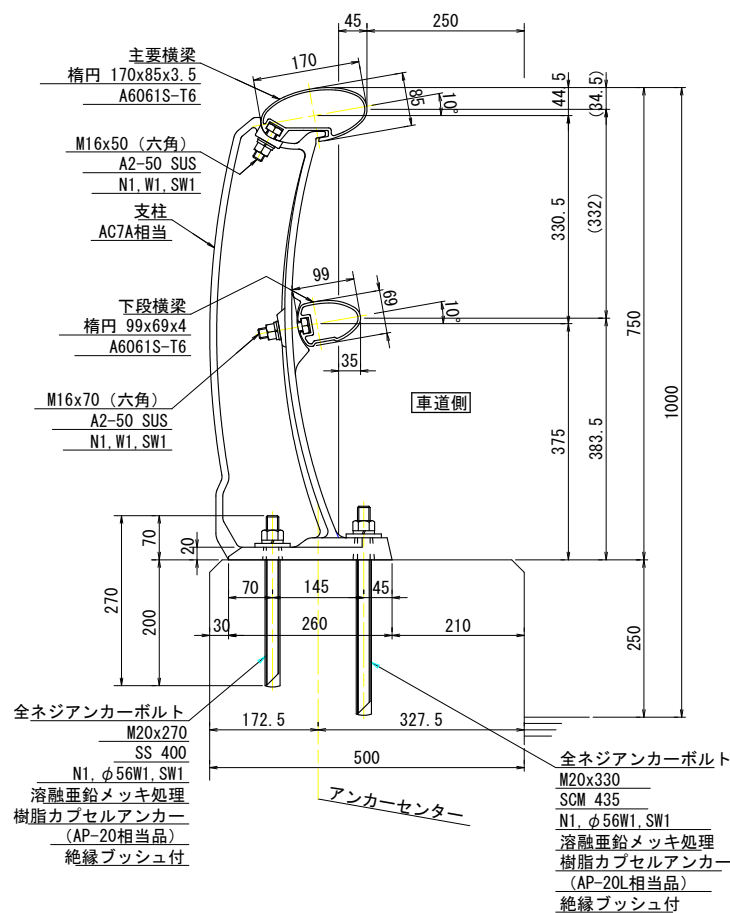


材料表

部 番	名 称	寸 度	数 量	単 重	1本当	総重量	材 質	備 考
1	主要横梁	3990.0	3	4.925	19.65	59.0	A6061S-T6	170x85x3.5
2	下段横梁	3990.0	3	3.394	13.54	40.6	A6061S-T6	99x69x4
3	支柱		6		11.11	66.7	AC7A相当	
4	主要スリーブ	340.0	3	4.667	1.59	4.8	A6061S-T6	
5	下段スリーブ	300.0	3	3.195	0.96	2.9	A6061S-T6	
6	甲丸ボルト	M16x35	12		0.11	1.3	A2-70 SUS	W1, SW1
7	〃	M12x30	12		0.05	0.6	〃	W1, SW1
8	六角ボルト	M16x50	12		0.17	2.0	A2-50 SUS	N1, W1, SW1
9	〃	M16x70	12		0.20	2.4	〃	N1, W1, SW1
10	全ネジアンカーボルト	M20x330	12		0.87	10.4	SCM435	N1, φ56W1, SW1
11	〃	M20x270	12		0.75	9.0	SS400	N1, φ56W1, SW1
12	樹脂カプセルアンカー	AP-20相当品	12		-	-		
13	樹脂カプセルアンカー	AP-20L相当品	12		-	-		
					総重量	199.7	Kg/12M	
					M当り	16.6	Kg/M (端部は除く)	

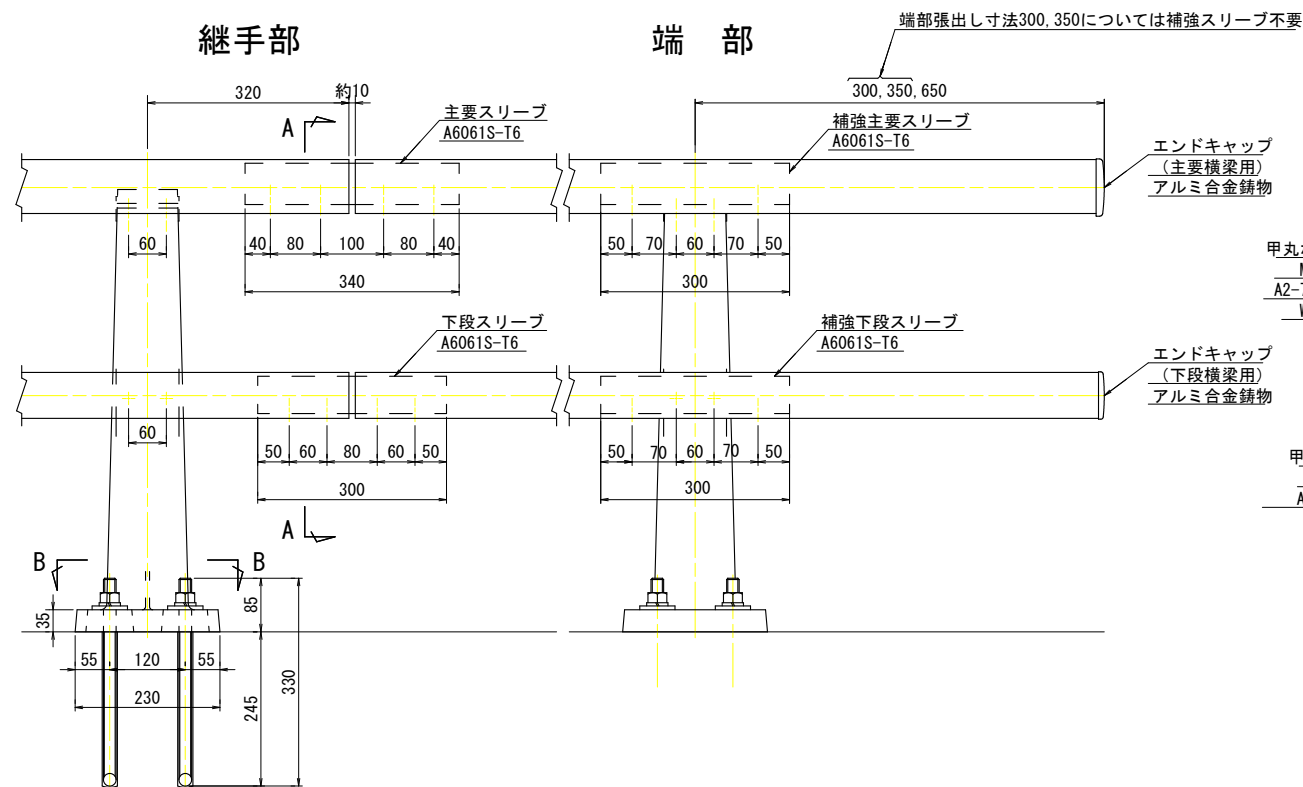
車両用防護柵取付詳細図 S=1:6

種別 B種

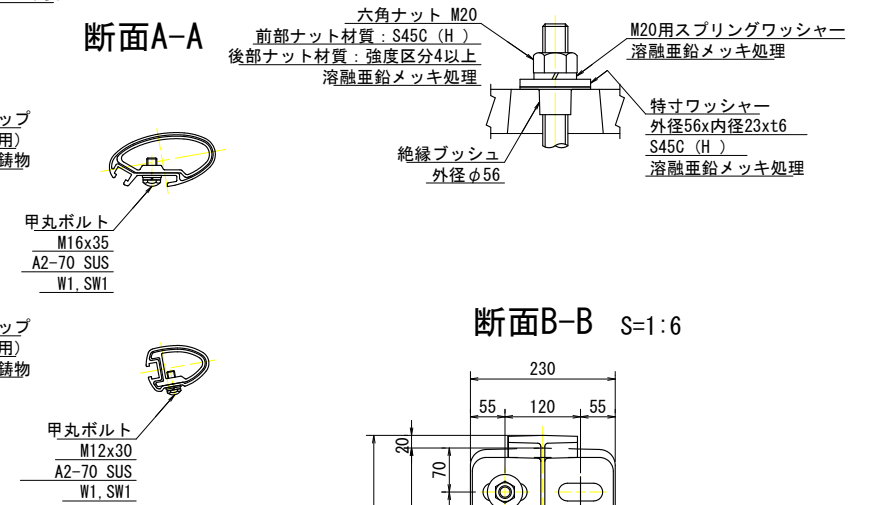


繼手部

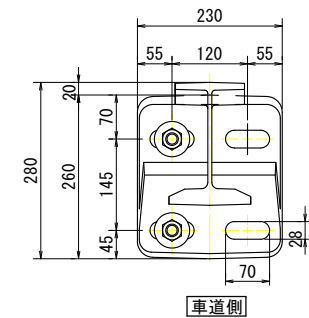
端 部



断面A-A



断面B-B S=1:6



- 注記
1. 表面仕様
主要横梁、下段横梁、主要スリーブ、下段スリーブ他、形材部品はアルマイト処理とし、支柱は塗装処理、ボルト（アンカーを除く）はステンカラー、シルバー及びダークグレー色の時を除き着色処理とし、色調は別途打合せとする。
 2. 本防護柵の設計仕様は、（社）日本アルミニウム協会 土木製品開発委員会作成「アルミニウム合金製橋梁用防護柵設計要領」（平成30年6月）による。
 3. 本防護柵の支柱は、レベル用を示し、0～2.5%勾配に使用とする。
 4. ボルト・ビス類のSUS材は、塩害対策処理とする。
 5. 強度区分の表記無きボルト類はA2～50以上とする。ただし、ビス類はA2とする。

コンクリート強度 $\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$ 以上

和8年度
国補

2026年9月設計

※この図面は縮小しています：A1→A3

図面番号	7 / 7	縮 尺	図 示
工 種	橋梁修繕工事		
種 別	高欄取替え工(その3)	番号	1 / 1
橋 梁 名	河口大橋・8-1		
工事箇所	福山市箕島町及び水呑町地内		
福 山 市			

参 考 图 书

施工単価表

頁0 -0001

既設高欄撤去工
H=800

V1000

單第0 -0001 表

908.2

m

当り

[illegible]

施工単価表

現場発生品及び支給品運搬
クレーン装置付 通称2t積2.9t吊
機械構成比: 13.14% 労務構成比: 83.98% 材料構成比: 2.88% 市場単価構成比: 0.00%

SPK26040410
片道運搬距離4.0km以下(2.0km超)

単第0 -0002 表
標準単価: 1 t 当り
2,086.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
トラック クレーン装置付 通称2t積級吊能力2.9t	13.14%		トラック クレーン装置付 通称2t積級 吊能力2.9t		MTPC00154 MTPT00154
運転手(特殊)	42.42%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	41.56%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	2.88%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 C=4 クレーン装置付 通称2t積2.9t吊 片道運搬距離4.0km以下(2.0km超)			B=1 DID区間無し		

施工単価表

頁0 -0003

高欄兼用車両用防護柵設置工 NB-32EB-75K相当品

V2000

單第0 -0003 表

100

m

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0004

樹脂カプセルアンカー設置工 M20

V2100

单第0 -0004 表

100

本 当 り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0005

地覆補修工

V3000

單第0 -0005 表

100

箇所 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0006

コンクリート
無筋・鉄筋構造物 24-12-25(20)BB
機械構成比: 0.00% 労務構成比: 28.77% 材料構成比: 71.23% 市場単価構成比: 0.00%

SPK26040157

単第0 -0006 表

1
標準単価: 32,152.00000

m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	12.92%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	7.34%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	6.55%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度24,スランプ12,粗骨材20(25) W/C(55%),種別(高炉)	71.23%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPC00343 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=1 無筋・鉄筋構造物 C=1 24-12-25(20)BB H=2 現場内小運搬無し K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=1 -		

施工単価表

頁0 -0007

任意仮設

V9000

單第0 -0007 表

1

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0008

側面吊り足場 タイプE

V9100

單第0 -0008 表

総月数4.8月 吊足場

1

m2

当り

[illegible]

数量計算書

河口大橋・8-1

数量総括表

河口大橋・8-1

[illegible]

河口大橋・8-1		高欄取替え工				1式当り		
名称		算式				数量		
高欄取替え工 既設撤去	・既設防護柵撤去							
	H=0.800m		※既設防護柵延長及び質量、厚みは仮定とする。					
			※参考質量:20.9kg/m					
			※厚み:3mm～4mm					
	(1径間)	45.30	m					
	(2径間)	45.30	m					
	(3径間)	45.30	m					
	(4径間)	45.30	m					
	(5径間)	45.30	m					
	(6径間)	45.30	m					
	(7径間)	45.30	m					
	(8径間)	45.30	m					
	(9径間)	45.30	m					
	(10径間)	45.30	m					
		合計	=	453.0	m	453	m	
		合計	453×20.9/1000	=	9.468	t	9.47	t
新設設置	・車両用防護柵							
	H=0.750m							
	(1径間)	45.35	m					
	(2径間)	45.40	m					
	(3径間)	45.40	m					
	(4径間)	45.40	m					
	(5径間)	45.40	m					
	(6径間)	45.40	m					
	(7径間)	45.40	m					
	(8径間)	45.40	m					
	(9径間)	45.40	m					
	(10径間)	45.35	m					
			合計	=	453.9	m	454	m

河口大橋・8-1		高欄取替え工				1式当り			
名称		算式				数量			
高欄取替え工 新設設置	・樹脂カプセルアンカー設置工								
	M20	1箇所/4本							
	(1径間)	26×4	=	104	本				
	(2径間)	26×4	=	104	本				
	(3径間)	26×4	=	104	本				
	(4径間)	26×4	=	104	本				
	(5径間)	26×4	=	104	本				
	(6径間)	26×4	=	104	本				
	(7径間)	26×4	=	104	本				
	(8径間)	26×4	=	104	本				
	(9径間)	26×4	=	104	本				
	(10径間)	26×4	=	104	本				
					合計	=	1040.0	本	1040
新設設置	・伸縮ジョイント加工								
	スリーブ仕様								
	(1径間)								
		1.0	箇所						
	(2径間)								
		1.0	箇所						
	(3径間)								
		1.0	箇所						
	(4径間)								
		1.0	箇所						
	(5径間)								
		1.0	箇所						
	(6径間)								
	1.0	箇所							
(7径間)									
	1.0	箇所							
(8径間)									
	1.0	箇所							
(9径間)									
	1.0	箇所							
(10径間)									
				合計	=	9.0	箇所	9	箇所

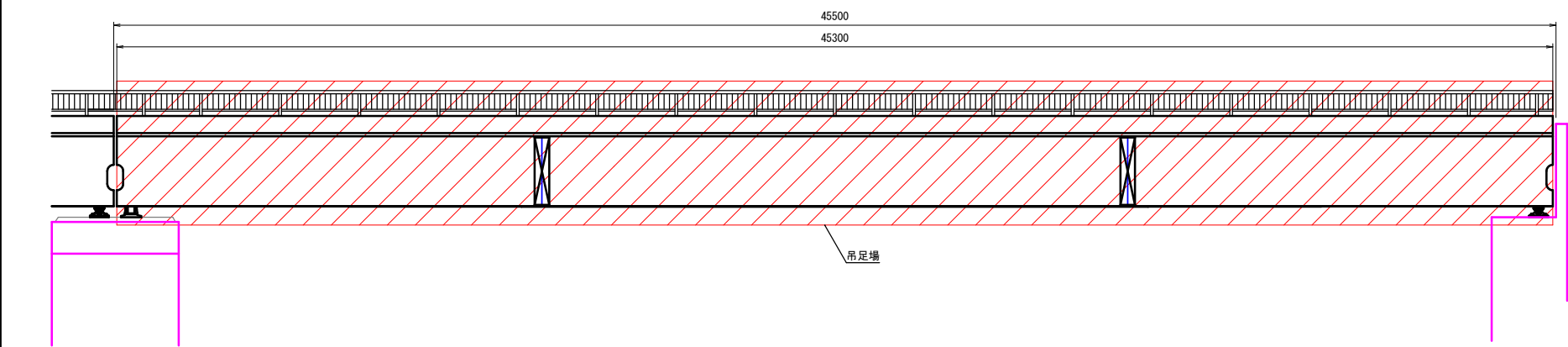
名称	算 式			数量
地覆補修工				
地覆補修工 コンクリート $\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$	(1径間)	19.00	箇所	
	(2径間)	19.00	箇所	
	(3径間)	19.00	箇所	
	(4径間)	19.00	箇所	
	(5径間)	19.00	箇所	
	(6径間)	19.00	箇所	
	(7径間)	19.00	箇所	
	(8径間)	19.00	箇所	
	(9径間)	19.00	箇所	
	(10径間)	19.00	箇所	
合計			= 190.0 箇所	190 箇所

河口大橋・8-1		仮設工	1式当り
名称	算 式	数量	
仮設工 足場工	・タイプE 側面吊り足場 $(2.0+0.8) \times 453.9 = 1270.9 \text{ m}^2$	1271	m2

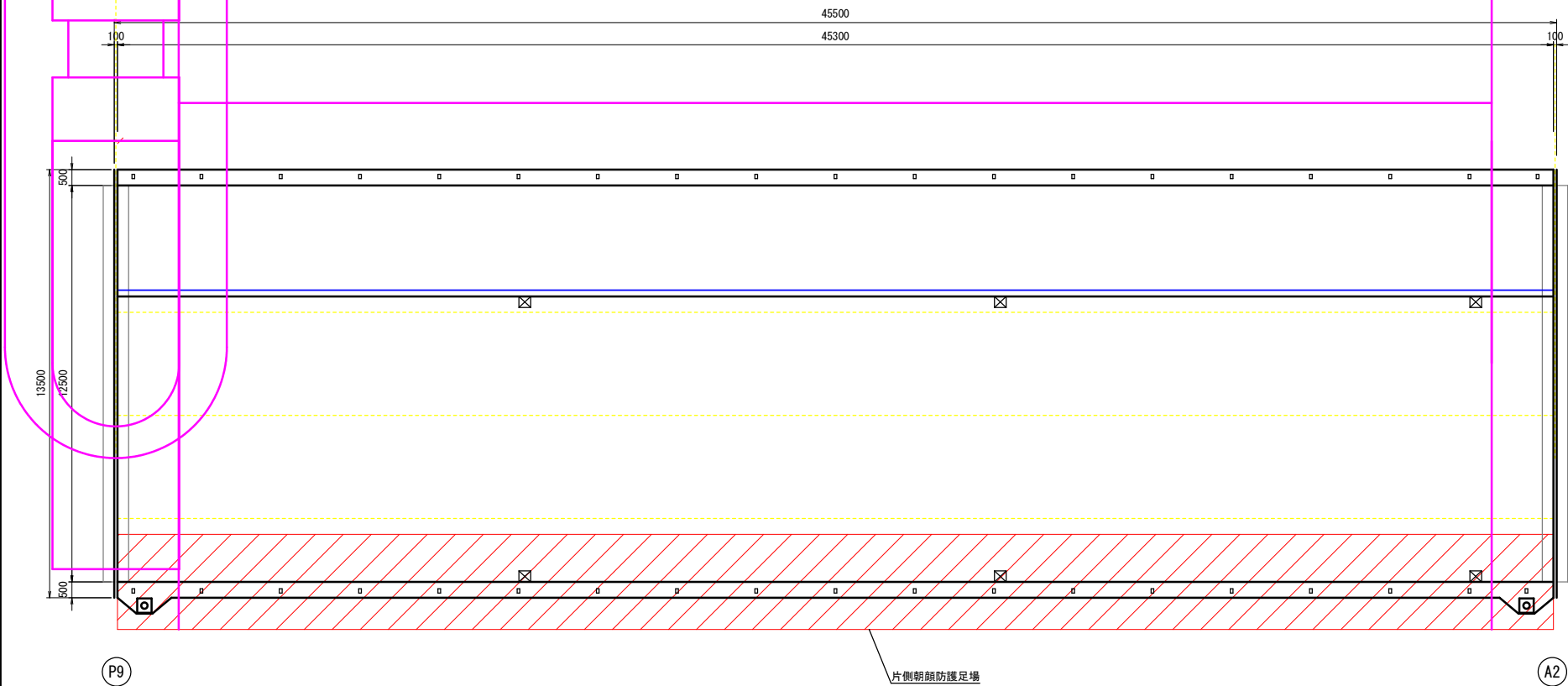
仮設参考図

S=1:100

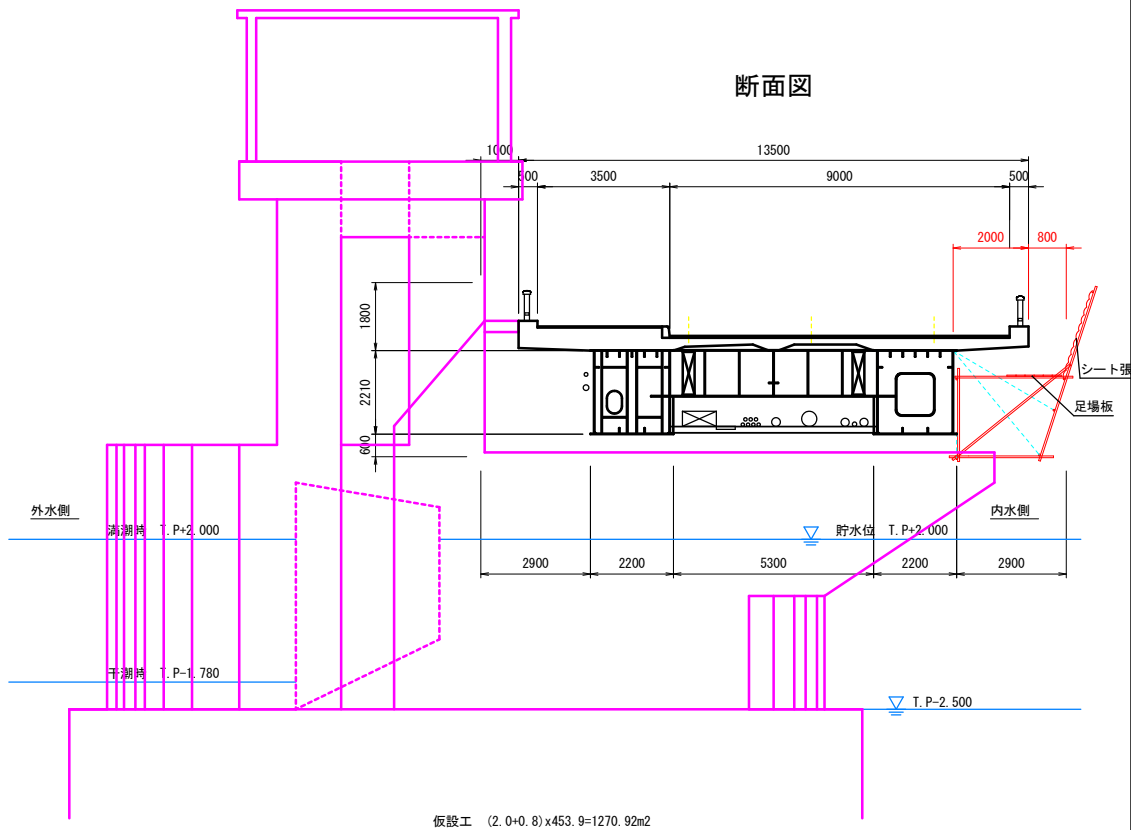
側面図



平面図



断面図



工種	種別	詳細	単位	数量	摘要
仮設工	足場工	タイプ E 片側朝顔防護足場	m2	1270.92	

令和8年度
国補

2026年9月設計

※この図面は縮小しています：A1→A3

図面番号	1 / 1	縮 尺	図示
工 種	橋梁修繕工事		
種 別	仮設参考図	番号	1 / 1
橋 梁 名	河口大橋・8-1		
工事箇所	福山市箕島町及び水呑町地内		
福 山 市			

注記

1. 施工にあたっては現地再測を行い、施工箇所及び施工範囲の確認を行うこと。